

01



三木北新聞

～最後までより三木北らしく～



発行日
2025年
7月18日

1 学期終業式

7月18日（金）、第1学期終業式が、熱中症対策の観点からリモート形式で行われました。式では、校長先生の講話や生徒指導部長の諸注意に、真剣な表情で耳を傾けていました。

また、生徒会役員の認証式も行われました。メンバーが紹介され、新生徒会のスタートにふさわしい、晴れやかな雰囲気の中での認証式となりました。

リモート形式ではありませんでしたが、1学期を締めくくる意義ある時間となりました。

令和7年度 1学期終業式 校長講話

今日で1学期が終わり、夏季休業に入ります。1学期は各クラブの総体などの公式戦や、青志祭・ドルーイン校の来校などの大きな行事がありましたが、皆さんは様々な場面で自分の力を発揮することができたでしょうか。

皆さんには、6月に「三木北高校でどのような力をつけるか」というアンケートを実施しました。どのような内容だったか覚えていますか。また、その後自分で意識して過ごすことはできていますでしょうか。

なぜ、他でもない“三木北高校”でつけてほしい力について、皆さんに意識して欲しいのか、少しお話をします。

今年度で三木北高校は残り2年間となりました。皆さんのあとに続く後輩はいません。そのような中で皆さんは三木北高校での学校生活で「三木北らしさ」を身につけることが出来る最後の人材だと思っています。

昨年度は先生方に、生徒が自分で考え、行動するような取組を授業や学校生活でお願いしてきましたが、年度の途中に先生方の中から、皆さんにつけて欲しい力について考えようという動きが起きました。私は、日々忙しい仕事の合間を見つけて、先生方がこのような気持ちをもって取り組んで下さったことは、とても素晴らしいことだと思っています。

今回のアンケートは、日頃、皆さんを間近で支えてくれている先生方が、校訓「立志・自学・自律・共生」を学校生活の様々な場面に落とし込んで考えて下さったものが元になっていて、皆さんにこのように成長してほしいという私たちの目標や願いでもあるのです。

皆さんも先日、校訓に照らし、自分がどのような力をつけたいのかということについてワークシートを使って考えましたね。校訓の言葉は難しいと感じますが、具体的にどのような取組をすれば、それぞれ校訓が目指す力をつけられるのかということを真剣に考える時間になったのではないのでしょうか。

アンケートに答えるだけでなくワークシートに取り組むことで、先生からの思いが一方通行にならず、皆さんが自分のこととして、今後の三木北高校でどのように具体的に頑張るのかを考えて欲しかったのです。

明日からの夏季休業中に、6月のアンケートや7月のワークシートを必ず振り返ってみて下さい。予測不能と言われる社会で、「自分で考えて行動する」姿勢が「生きる力」を養います。自分は、どの力が足りないのか、三木北高校でどのように伸ばしていくのかについてじっくりと考え、行動に移しましょう。

例年より早く梅雨が明け、暑い日が続いています。くれぐれも夏休み中の健康には気をつけて、2学期にはさらに高い志をもって、ここに集うことが出来るよう頑張ってください。

国際交流

オーストラリア Drouin Secondary Collegeの生徒が来校



7月10日(木)から14日(月)にかけて、オーストラリア・ヴィクトリア州にあるDrouin Secondary Collegeの生徒15名が本校を訪問しました。今回の交流は、国際理解教育の一環として実施されたもので、本校からは2年生6名、3年生9名がバディとして彼らと行動を共にしました。

滞在期間中、Drouinの生徒たちは、おにぎりづくりやお箸づくりなどの日本の伝統文化を体験し、日本文化への理解を深めました。また、授業への参加に加え、空手道部・茶道部・書道部などの部活動の見学・体験を通じて、本校生徒との交流を深める貴重な機会となりました。

言語や文化の違いを越えて、両校の生徒たちは互いに心を通わせ、笑顔あふれる時間を共有しました。この交流を通じて、生徒たちは国際的な視野を広げるとともに、今後の学びや人生においても大きな糧となる貴重な経験を得ることができました。



1 学期学校行事

環境保全活動（5月23日）

中間考査最終日に、校内および学校周辺の清掃活動を行いました。美化意識を高める貴重な機会となりました。



青志祭（6月13日）

今年度のテーマ『継』には、三木北高校が長年にわたり築いてきた伝統や精神をしっかりと受け『継』ぎ、引き『継』いでいくという思いが込められています。



防災避難訓練（6月23日）

今回は、震度6の地震を想定した避難訓練を実施しました。休み時間に緊急地震速報が流れると、生徒達は自分の身の安全を確保するとともに適切な経路を判断し、無事に避難することができました。最近も心配な地震が続いています。いつ起こるか分からない自然災害や火災に対する訓練を今後も定期的に行い、防災意識や対応力を高めていきます。



長期休業に入るにあたり、各教科の先生方に夏休みの受験勉強方法を伺いました。限られた時間を有効に活用し、志望校合格に向けて一歩ずつ前進するためのヒントが詰まっています。夏休みの学習計画に、ぜひ参考にしてください。

夏休みの勉強方法を教えてください。


国語
A先生

国語は得意科目だったので、夏からセンター試験過去問（約10年分）を解き始めました。同時に、漢字、古文単語、漢文の重要句法などを覚えました。（単語帳をいつまでも眺めるだけでは力はずきません。やはり問題文を読む中で、単語の意味や句法を確認したり、長い文章に体を慣れさせたりすることが大事です。）

他教科については、夏で基礎固めを完成させたかったので、焦る気持ちを抑え、とにかく徹底的に基礎をやり直しました。過去問や難しい問題集に焦って手を出すのではなく、まず、教科書や参考書を全ページ読み直しました。加えて、模試ノートを一冊作りました。模試を受けたあとすぐに、解答解説冊子を読み込み、大事なところをノートにまとめました。有意義な夏になるように祈っています。


数学
B先生

私は旧三木市立図書館に毎日通い、1日10時間を目標に勉強していました。数学に関しては、夏は苦手の分野をいかに克服するかに注力しました。（数学Ⅱ指数・対数や数学B数列など）学校で購入した問題集であるFocusGold（チャート式でもいいと思います。）の苦手の分野の解きなおしを行い、分からなかったら教科書に立ち戻って例題を解くということをやっていました。数学は思考をする習慣をつけないければ力が身についていきません。どんな問題を解くときでも頭を働かせながら、「考える」ことを大切に解くことを意識しましょう。そして、「考える」ためには基礎知識がなければどうにもならないので、夏のうちにしっかりと復習をし、苦手を減らしておきましょう。

受験生の夏は勝負の夏です！一緒に戦いましょう！


地歴公民
C先生

私は、学生時代テレビをよく観ていました。ニュース、ドラマ（特に刑事ドラマ）、映画、時代劇、音楽番組、ドキュメンタリーなど幅広く観ていました。ニュースは公共（当時は現代社会）や政治経済で学習したことが取り上げられ、理解を深めることができました。刑事ドラマでは、刑事手続きについて確認ができました。時代劇では、江戸時代の生活がイメージでき、学習の参考になりました（再現されていない描写もありますが）。音楽番組では、過去の楽曲とともに当時の映像が流れ、その映像が昭和の文化史、経済史の参考になりました。過去のドラマや映画も同様です。ドキュメンタリーでは、お盆になると戦時中のことが取り上げられ、大戦期の歴史の学習につながりました。

地歴公民科は問題を解く、一問一答で内容確認、用語を見て内容の説明ができるようになることが非常に重要です。ただ、学習内容を深めるために、映像は有効です。活用してみてください。夏は得意を伸ばし、苦手と向き合ういいタイミングです。健闘を祈ります。


理科
D先生

私は、3年生の夏休みに1日10時間以上を目標に勉強していました。一般入試を前提に勉強をしていたので、センター試験（現共通テスト）と二次試験の対策を中心に行っていました。国語と社会は、センター試験の過去問を中心に取り組み、分からないところがあればとにかく調べながら進めました。英語に関しては、特に苦手だったこともあり中学生の範囲を勉強しなおすこともありました。数学と理科は、二次試験の問題演習を中心に行っていました。得意な科目でも苦手な分野があると思います。それを見つめるために解けた問題に○、そうでない問題に×を付けながら何度も繰り返し解いたことを今でも覚えています。苦手な科目ほど勉強するのはつらいと思います。それでも、将来の自分のためになるとして少しでも勉強してください。分からないことがあれば友達に聞くなり、先生に聞くなりして絶対に解決してください。私はそうしてました。一緒に頑張りましょう。


英語
E先生

私は英語が元々得意でありませんでした。英文が読めなくて、何度も諦めモードになりかけたことを思い出します。それでも英語が面白い！と感じたきっかけはやはり単語をひたすら覚えたことです。とにかく書いて発音して何度も何度も繰り返し暗記することを欠かさず行いました。高3の夏からは、志望大学の過去問を8年分解きました。過去問を解くことで大切なのは、傾向を知ることです。合格基準の点数に届かなくても練習だと思って気にせず、出題形式や時間配分をきっちり把握することが重要だと思います。また1度解いた過去問をそのままにせず、満点になるまで解き直すということをしていました。

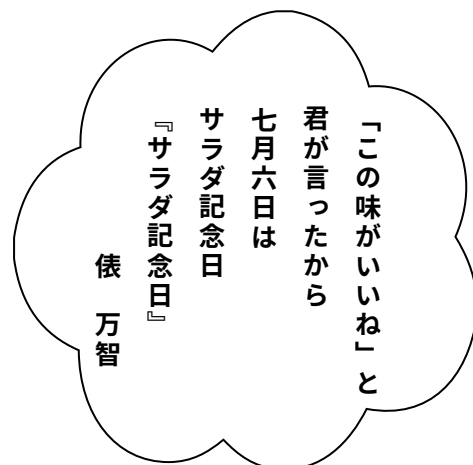
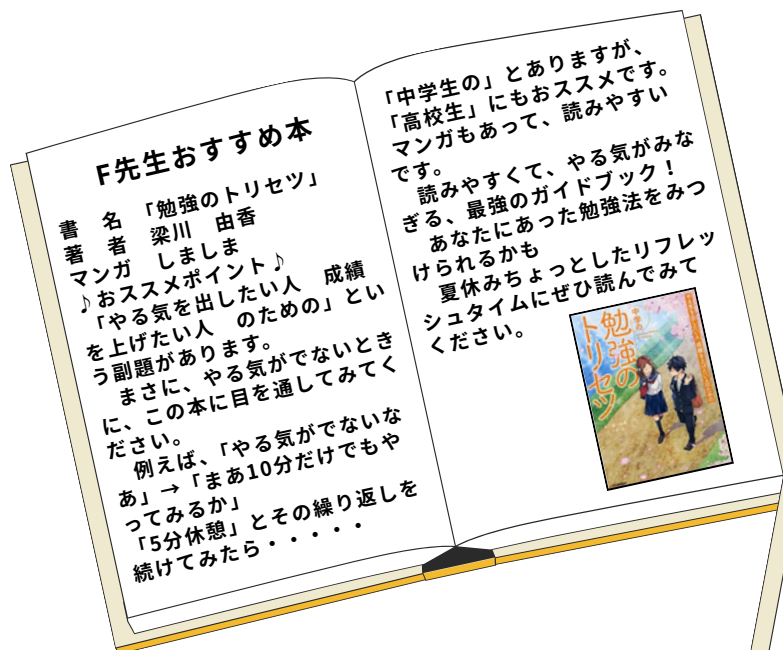
他教科については、苦手な科目ほどじっくりと基礎を見直すことが大切だと思います。私は数学が大の苦手だったので、夏はワークの基本問題を3周解き直していました。焦りが出てくる時期だと思いますが、月ごとにやるべきことを決めて計画的に対策を行うことをおすすめします。やりきった！といえる夏休みになるように頑張りましょう！



夏休み 読書のすゝめ



夏休みに読むべきおすすめの本について、4人の先生方にご紹介いただきました。心を豊かにする読書の時間をぜひこの夏に取り入れてみてください。この夏、充実した読書体験を！



「この味がいいね」と
君が言ったから
七月六日は
サラダ記念日
『サラダ記念日』
俵 万智

